

鳥取県も関西広域連合の一員です。



鳥取県からのお知らせ	
平成27年1月13日	
担当 (担当者)	鳥取県関西本部 中島
電話	06-6341-1988
ファクシミリ	06-6341-3972

【初開催】「のびてゆく幼稚園」での柿の植樹等による鳥取県農産物のPR

～園児と県知事による植樹、園児が県内のユニークなイベント「柿の種吹き飛ばし」初体験～

関西青果卸売企業及びJA全農とつとりと連携して、国内で鳥取県東部のみで栽培されている珍しい「花御所」柿等の植樹、県産柿3品種の食べ比べ、「柿の種吹き飛ばし」体験等を下記のとおり初開催します。

記

- 1 日程 1月17日(土) 9:15～10:45
- 2 場所 学校法人公文学園 のびてゆく幼稚園
(大阪府高槻市黄金の里1-3-1)
- 3 参加者 幼稚園児及び保護者 50組(100名)
- 4 協力機関 大阪中央青果株式会社、JA全農とつとり、鳥取県



5 主な内容

- (1) 「花御所」(甘柿)と「西条」(渋柿)の植樹(グラウンドにて9:15～9:30予定)
園児と県知事が一緒になって、今年から花の開花や果実の生育が観察できるポット樹2本を植樹
- (2) 「食のみやこ鳥取県」等の紹介及び県産柿の試食(講堂にて9:35～10:10予定)
本県を代表する農林水産物を紹介するとともに、県内で栽培されている3品種(「花御所」、「西条」、「富有」)の試食品を提供
- (3) 県内のユニークなイベント「柿の種吹き飛ばし」体験等(講堂にて10:15～10:45予定)
毎年秋に鳥取県南部町で開催されているユニークなイベント「柿の種吹き飛ばし大会」を参考にした体験会を実施するとともに、県産農産物をPRするため、日持ちの良い晩生梨の「王秋」と周年出荷している「白ねぎ」をプレゼント

※当日の交通事情により、鳥取県知事の来園時間が多少変更する可能性がありますことをご了承ください。

※当日、雨天の場合でも、柿の植樹は行う予定です。

【参考】「花御所」柿の由来

- 天明年間(200年余年前)に、鳥取県郡家町花(現在の八頭町花)の農家の野田五郎助さんが大和の国(現在の奈良県)から「御所柿」の枝を持ち帰って、渋柿に接ぎ木したのが始まりといわれている。
- 当時、「五郎助」柿と呼ばれていたが、栽培面積が増えるにつれて、地名にちなんで「花御所」柿と呼ばれるようになった。
- 「花御所」柿は、鳥取県東部、因幡地方のみで栽培されている甘柿である。

本件につきまして、貴社媒体にてお取り扱いいただきますよう、よろしく申し上げます。

ご取材の申込及び当日の連絡先：鳥取県関西本部 中島(公用)090-4904-0155